



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月13日

上場会社名 株式会社Misumi 上場取引所 福
 コード番号 7441 URL <https://kk-misumi.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平田 慶介
 問合せ先責任者 (役職名) サポート本部長 (氏名) 今林 俊人 (TEL) 099-260-2213
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	28,869	△5.6	△56	—	130	△75.7	33	△89.6
2023年3月期第2四半期	30,582	13.0	300	42.3	538	25.1	324	29.2

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 560百万円(77.5%) 2023年3月期第2四半期 315百万円(44.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	5.88	—
2023年3月期第2四半期	56.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	41,130	18,436	44.1
2023年3月期	40,294	18,006	43.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 18,127百万円 2023年3月期 17,687百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2024年3月期	—	20.00			
2024年3月期(予想)			—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,132	2.1	1,170	47.4	1,565	21.1	843	25.3	146.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	6,100,503株	2023年3月期	6,100,503株
2024年3月期2Q	356,569株	2023年3月期	351,969株
2024年3月期2Q	5,747,142株	2023年3月期2Q	5,759,247株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」へと移行し、行動制限の緩和や入国規制の緩和に伴うインバウンド需要の回復によって、社会経済活動の正常化に向けた動きが進み、景気は緩やかな回復基調となりました。しかし一方で、ロシアによるウクライナ侵攻を始めとする不安定な国際情勢の長期化や原材料価格高騰等により、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、主力のエネルギー事業において、燃料油やLPガスの販売シェア拡大に向け、法人顧客の新規開拓や既存顧客に対する営業活動を強化するとともに、その他の事業についても、接客・サービスの更なる向上を目的に、社内研修の充実や既存店舗のリニューアル等を推し進め、お客様との関係性や信頼性の強化に努めました。

しかしながら、当社グループの主力事業であるエネルギー部門において、LPガスの大口需要家向けの販売数量が減少したこと、また燃料油の利益率低下等により当第2四半期連結累計期間の売上高は288億69百万円（前年同四半期比5.6%減）、経常利益は1億30百万円（前年同四半期比75.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は33百万円（前年同四半期比89.6%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

1 エネルギー

「エネルギー」セグメントの石油部門では、採算販売を重視した活動を行うとともに、SS事業において「ENEOSアプリ」を活用した新規顧客獲得やユーザー囲い込みに努めるとともに、整備等の技術研修を充実させることで社員の営業力強化を図り、油外商品の増販につながる活動を行いました。

ガス部門では、採算販売による安定した粗利確保を図るとともに、コロナ禍で大幅に減少した対面による営業活動を増やすことで、お客様との関係強化に努めました。また、住設機器販売では、経年機器使用ユーザーへのダイレクトメール送付やチラシ配布等による買替案内を行うなど、販売強化に努めました。

しかしながら、LPガス大口需要家向けの販売数量が減少したことや、燃料油の利益率低下等により、売上高は221億2百万円（前年同四半期比7.2%減）となり、セグメント利益（営業利益）は39百万円（前年同四半期比87.5%減）となりました。

2 ライフスタイル

「ライフスタイル」セグメントのカルチャー部門では、季節商材の販売を拡大するとともに、話題作コミックの展開を強化いたしました。また、行動規制緩和による外出需要の高まりから旅行ガイド誌販売を強化する等、時代のニーズに合わせた売り場作りを展開することにより、お客様への訴求強化に努めました。

オプシアミスミでは、新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に移行したことを受け、ワークショップやステージイベント等を再開し、来店動機を促すなど、集客力強化に努めました。

以上の結果、カルチャー店舗への客数減少等により、売上高は34億58百万円（前年同四半期比5.1%減）となりましたが、適切な人員配置や業務効率化により、経費が減少したことで、セグメント利益（営業利益）は59百万円（前年同四半期比0.1%増）となりました。

3 フード&ビバレッジ

「フード&ビバレッジ」セグメントの外食部門では、主力業態であるKFCにおいて、店舗改装を進めるとともに、フードロス削減によるコスト管理を徹底し利益改善に努めました。本年8月には宮崎市にKFC宮崎新別府店を新規オープンいたしました。

以上の結果、売上高は33億7百万円（前年同四半期比6.1%増）となりましたが、料率変更に伴うロイヤリティの上昇に加え、配達代行サービス手数料が増加したことから、セグメント利益（営業利益）は2億45百万円（前年同四半期比5.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態)

当第2四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べて8億35百万円増加し、411億30百万円となりました。これは主に、売掛金が減少する一方、現金及び預金や投資有価証券が増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて4億6百万円増加し、226億93百万円となりました。これは主に、未払法人税等が減少する一方、買掛金、未払金及び繰延税金負債が増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて4億29百万円増加し、184億36百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、固定資産の取得3億67百万円、法人税等の支払い2億21百万円等の資金の減少がありましたが、売上債権の減少8億73百万円、減価償却費4億10百万円及び仕入債務の増加1億54百万円等の資金の増加により、前連結会計年度に比べ9億69百万円増加し、当第2四半期連結累計期間は54億40百万円(前年同四半期比73.9%増)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加額は、15億14百万円(前年同四半期比157.7%増)となりました。これは主に、法人税等の支払い2億21百万円及び棚卸資産の増加1億16百万円等の資金の減少がありましたが、売上債権の減少8億73百万円、減価償却費4億10百万円及び仕入債務の増加1億54百万円等の資金の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少額は、4億56百万円(前年同四半期比86.6%減)となりました。これは主に、固定資産の取得3億67百万円等の資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少額は、88百万円(前年同四半期は25億62百万円の増加)となりました。これは主に、借入金の増加43百万円の資金の増加がありましたが、配当金の支払い1億15百万円等の資金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は、2023年5月12日発表から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,300,388	6,264,328
受取手形、売掛金及び契約資産	5,884,212	4,999,345
商品及び製品	3,033,774	3,096,958
仕掛品	6,617	59,454
原材料及び貯蔵品	17,427	17,582
その他	624,437	671,193
貸倒引当金	△3,603	△3,166
流動資産合計	14,863,254	15,105,697
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,590,518	5,536,000
土地	11,790,476	11,790,476
その他（純額）	1,433,148	1,457,328
有形固定資産合計	18,814,143	18,783,804
無形固定資産		
のれん	1,390,883	1,314,876
その他	165,717	132,780
無形固定資産合計	1,556,600	1,447,657
投資その他の資産		
その他	5,226,355	5,971,025
貸倒引当金	△165,694	△177,819
投資その他の資産合計	5,060,660	5,793,205
固定資産合計	25,431,405	26,024,667
資産合計	40,294,659	41,130,365
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,683,234	2,838,222
短期借入金	5,215,000	5,125,000
1年内返済予定の長期借入金	3,093,016	3,163,016
未払法人税等	249,900	77,009
賞与引当金	307,840	310,910
その他	1,460,596	1,611,083
流動負債合計	13,009,586	13,125,240
固定負債		
長期借入金	7,338,699	7,402,191
役員退職慰労引当金	785,230	795,980
その他	1,154,212	1,370,527
固定負債合計	9,278,141	9,568,698
負債合計	22,287,727	22,693,938

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,690,899	1,690,899
資本剰余金	1,646,600	1,646,600
利益剰余金	14,180,486	14,099,131
自己株式	△622,726	△630,879
株主資本合計	16,895,259	16,805,752
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	620,269	1,162,929
退職給付に係る調整累計額	171,998	158,832
その他の包括利益累計額合計	792,268	1,321,762
非支配株主持分	319,403	308,911
純資産合計	18,006,931	18,436,426
負債純資産合計	40,294,659	41,130,365

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	30,582,843	28,869,034
売上原価	24,670,639	23,148,764
売上総利益	5,912,203	5,720,270
販売費及び一般管理費	5,611,546	5,776,984
営業利益又は営業損失(△)	300,656	△56,714
営業外収益		
受取利息	1,266	3,639
受取配当金	51,898	47,033
受取賃貸料	95,918	103,923
その他	150,406	175,589
営業外収益合計	299,490	330,185
営業外費用		
支払利息	32,694	40,286
賃貸費用	14,787	22,411
固定資産除却損	3,545	70,378
その他	10,375	9,565
営業外費用合計	61,403	142,642
経常利益	538,743	130,828
特別利益		
固定資産売却益	5,196	1,608
投資有価証券売却益	8,416	—
特別利益合計	13,612	1,608
税金等調整前四半期純利益	552,356	132,436
法人税、住民税及び事業税	162,993	46,853
法人税等調整額	57,447	54,575
法人税等合計	220,441	101,429
四半期純利益	331,914	31,007
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	7,348	△2,808
親会社株主に帰属する四半期純利益	324,565	33,815

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	331,914	31,007
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,838	542,659
退職給付に係る調整額	△4,397	△13,354
その他の包括利益合計	△16,236	529,305
四半期包括利益	315,678	560,312
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	308,488	563,309
非支配株主に係る四半期包括利益	7,189	△2,997

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	552,356	132,436
減価償却費	371,703	410,845
固定資産除却損	3,545	70,378
のれん償却額	57,473	97,031
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9,689	11,687
賞与引当金の増減額(△は減少)	△16,219	3,070
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△140,074	10,750
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△5,842	△9,425
受取利息及び受取配当金	△53,164	△50,672
支払利息	32,694	40,286
固定資産売却損益(△は益)	△5,196	△1,608
投資有価証券売却損益(△は益)	△8,416	—
受取保険金	△406	△540
売上債権の増減額(△は増加)	1,326,966	873,610
棚卸資産の増減額(△は増加)	△113,922	△116,176
仕入債務の増減額(△は減少)	△828,505	154,987
その他	△217,030	100,410
小計	965,651	1,727,072
利息及び配当金の受取額	51,974	49,462
利息の支払額	△35,169	△40,984
保険金の受取額	406	540
法人税等の支払額	△395,239	△221,885
営業活動によるキャッシュ・フロー	587,622	1,514,205
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,150	△6,300
定期預金の払戻による収入	72,102	12,000
固定資産の取得による支出	△942,110	△367,279
固定資産の売却による収入	4,525	1,994
投資有価証券の取得による支出	△17,405	△17,355
投資有価証券の売却による収入	12,116	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,551,980	—
差入保証金の差入による支出	△344	△1,095
差入保証金の回収による収入	10,048	3,030
貸付金の回収による収入	676	431
その他	5,634	△81,670
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,409,885	△456,245

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	3,400,000	—
短期借入金の返済による支出	△3,445,000	△90,000
長期借入れによる収入	4,315,000	1,900,000
長期借入金の返済による支出	△1,567,930	△1,766,508
リース債務の返済による支出	△2,015	△1,120
自己株式の取得による支出	△15,281	△8,153
配当金の支払額	△115,396	△115,044
非支配株主への配当金の支払額	△6,744	△7,494
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,562,632	△88,319
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△259,631	969,639
現金及び現金同等物の期首残高	3,387,342	4,470,633
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,127,711	5,440,273

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	23,822,813	3,642,491	3,117,537	30,582,843	—	30,582,843
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,708	39,410	—	50,118	△50,118	—
計	23,833,522	3,681,901	3,117,537	30,632,961	△50,118	30,582,843
セグメント利益	316,003	59,200	259,860	635,064	△334,407	300,656

(注) 1 セグメント利益の調整額△334,407千円には、セグメント間取引消去1,675千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△336,083千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,102,903	3,458,195	3,307,935	28,869,034	—	28,869,034
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,387	42,954	—	52,341	△52,341	—
計	22,112,290	3,501,149	3,307,935	28,921,376	△52,341	28,869,034
セグメント利益又は セグメント損失(△)	39,499	59,270	245,603	344,373	△401,088	△56,714

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△401,088千円には、セグメント間取引消去1,592千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△402,681千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。